

MIZUHO

瀬木学園だより

学校法人 瀬木学園

愛知みずほ大学・大学院

愛知みずほ短期大学

愛知みずほ大学瑞穂高等学校



October
2021

Vol.31

「とっておき MIZUHO」(高校)	1・2
「新生 MIZUHO」(大学・短大)	3
「発健(見)MIZUHO」(短大)	4
「きらり☆MIZUHO」(高校)	5
「瑞穂録」	5



昨年に引き続き、今夏もコロナ禍の制限に囲われた夏でした。さながらカゴの中の鳥。さらには8月の長雨の追い打ち。子どもたちにとっては、自由に広げられるはずの翼もすぼめがちな夏休みとなりました。それでも、学園の生徒、学生たちは、向かい風にも羽ばたきを忘れませんでした。その「羽ばたき」を中心に「瑞穂の夏」をご紹介します。



とっておき
MIZUHO

吹奏楽部



オープニングに

華を添えて

地域イベントとコラボ



書道部





ダンス部



美術部



新聞部

海の日の7月22日(木)、
学園近くの駅に誕生した商業施設
のオープニングイベントに瑞穂高校の生徒
たちが華を添えました。

イベントが開催されたのは、最寄り駅の一つである
名鉄神宮前駅に直結する「ミュプラット神宮前」。食卓
に欠かせない食品を取り扱うスーパーマーケットをはじめ、
暮らしを豊かにするショップ、レストラン、クリニックが複数
入った商業施設です。その誕生に際して企画された「近隣学校
コラボパフォーマンスイベント」への参加のお誘いを受け、今回の
コラボが実現しました。

参加したのは、吹奏楽部、ダンス部、書道部、美術部、新聞部、
自然科学部の部員たちです。吹奏楽部、ダンス部、書道部は、
ステージでパフォーマンスを披露する形で、他の部は展示での
参加となりました(書道部は展示でも参加)。

当日は、新型コロナウイルスの感染予防対策から、観覧は
観覧席に限られた上、入場者数の制限も設けられました。
それでも、館内の吹上空間に設置されたステージで行わ
れたため、上階のフロアからも多くの方がパフォー
マンスに見入っていました。また、別のフロアに
設けられた展示スペースでは、立ち止まっ
て作品を鑑賞する人が多く見受け
られました。

自然科学部



学生広報スタッフ「M!P」誕生!

本学の魅力を学生自らが発信。将来、社会で活躍できるリーダーの育成を目指して学生広報スタッフ制度「MIZUHO PR STAFF=M!P (ミップ)」が誕生しました。M!Pの使命は「本学の特徴や健康の大切さについて世の中の人に広めていくこと」です。この活動は入試広報室の職員と協働で行うボランティア活動で、4月から募集を始め、現在、38名(大学22名・短大16名)が所属し、活動を開始しました。

M!Pでは、専門の講師を毎月招いて研修会を開き、マナー、話し方、グループワークや文章のまとめ方など社会に出てから役立つスキルを学んでいます。また、学んだことを実践する場としてオープンキャンパスや地域活動などを活用し、スキルアップを図っています。今後の活動として「広報誌などの作成」「学内活動を紹介する写真・動画の作成」「オリジナルグッズの制作」などを行います。今後も折につけて紹介して参りますので、お楽しみに。

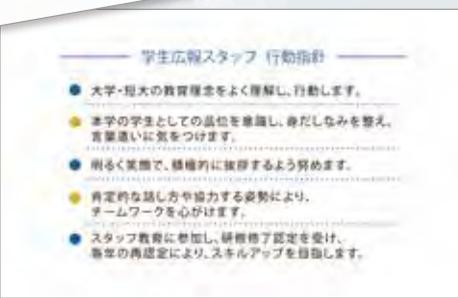
オープン
キャンパス
での活動



ロゴマーク

スタッフの名刺

学生広報スタッフとしての自覚を促すため表面に自己目標と名前、裏面に学生広報指針を記載した名刺を作成しました。



研修会の
様子





発健(見)
MIZUHO

始まりは52年前「食品加工講習会」

8月24日(火)に、短期大学で県内の高等学校家庭科教諭を対象に「食品加工講習会」が開催されました。今回は、その歴史を「発健(見)」です。

本講習会は、一時期の休止期間を挟んで毎年実施してきましたが、その始まりは、なんと、52年前の1969(昭和44)年に遡ります。そこから28年間実施され、しばらく中断したのち、2010(平成22)年に再開されました。毎年テーマごとに身近な食品を取り上げて、その性質や利用法について、教材として活用できる情報を提供し、本県の家庭科教育の充実に寄与するために開催しています。今回のテーマは「植物油」。実習・実験・講義の形式で行われ、実習では、がんもどきとシフォンケーキを作り、使用済みの揚げ油を使って、油の実験、アロマワックスバーを作成しました。当日は、参加者の検温をはじめ、一人一台の実習台を使用するなど、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しました。



Newspaper



きらり☆ MIZUHO

部活動の実績 (高校) 夏のインターハイ (「北信越総体2021」7/24~8/24) に卓球部と水泳部が出場しました。

卓球部

富山市
総合体育館

女子学校対抗
ベスト **8**

- 深谷 和花 (3年)
- 眞木七々佳 (3年)
- 甲斐 萌夏 (3年)
- 鶴岡 美菜 (3年)
- 中村 藍子 (3年)
- 稲垣 幸菜 (1年)
- 今枝 愛美 (1年)



会場での記念撮影



無言でも思いは伝わる(プラカードでの「声援」)



甲斐 萌夏

女子シングルス
ベスト **16**

シングルスベスト16に入った甲斐選手



マスク越しの激励(神谷卓磨監督)

女子ダブルス
ベスト **16**

甲斐 萌夏
鶴岡 美菜

※記念写真以外は「卓球王国」提供

水泳部

長野運動公園総合市民プール「アクアウイング」

飛込競技

飛板飛込
第 **5** 位

高飛込
第 **7** 位

片岡 龍之介 (3年)



Swimming

瑞 想 録

いつコロナ禍の憂鬱から解放されるか先が見えない中でも今号でご紹介したとおり、本学園の活動は色褪せていません。拙作で申し訳ありませんが、一編の詩に思いを込めて。

コロナの風の中
口にマスクは必要だが
心にマスクは要らない
メジャーで測れる距離では
離れていなくちゃ
ならないけど
思い遣りや労りの距離では
手の届く範囲でなければ
いけない
風は必ず
吹き抜けていくのだから

転寝